様式第3 ~	7						未計価を	支(平成3	平度)								
事業コー	₽. K	940			課コード	1003		会計種別	一般会計				予算	の種類 ■	■政策	■経常 [ロなし
1. 事業	の概要(PLAN)																
		①事業名		実施計画への 位置づけ		• 7	有 〇無		②部課名	消防本部・							
(1) 事業概要		③事業主体	個別事業 ●市	消防団施設 ○その他					④対象地区		□我孫子 □天王台		□湖北	□新木	□布佐■全市		
		⑤事業期間	U.,,,	0 (0) [~	~			牧	口权旅子 口入王占		4 人			0.13 人)	
		⑦事業費	総事業費			0 千円	0 千円			年度 —	(当 初) 40,2		10,265 千円	65 千円 (うち人件費		1,144 千円)	
		(人件費含む)	和子木吳							((変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		70203	重点プロジェクト への位置づけ	重	直点なし	基本計画地 計画への位置		07	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
		施策目的・				 5民の防火・防災意識を一層高める 水・防災訓練や住宅用火災警報器の					施設の改築及び	維持管理を図り	、消防団活動	助の拠点機能を保持	することを目	的とする。	
(2)日町		展開方向	の強化を図]ります。				立巻まに 口吟・	0 to 3 (// 0 E	146 ± ¬±							
				消防団の活動環境を整えるため、消防団施設の改築及び維持管理を行なうことを内容とする。 消防団器具置場の老朽化に伴い、改築を目的とした事業を進める。						묶	賠償責任保険への加入(火の見櫓・ホース乾燥塔) 器具置場、火の見櫓、ホース乾燥塔、随時修繕実施 器具置場改築に伴う設計委託						
(a)										画 岩	器具置場改築工事						
(3)事業内容		内 容								暑	器具置場維持管理 器具置場の登記実施						
			達成目標(期待する成果)						当該年度 活動結果指	토	消防団施設の整	備・修繕件数			単位	想定値 件 実績値	3
(4)達成目標(期待する成果)									指標種類					単位 (5)現況値			(6)目標値
当該年度	:	消防団施設の維持	管理を図るこ	ことにより流	舌動拠点としての機	幾能を維持及び改善する。		直接	ii	適正管理率(修	繕等実施件数/	修繕等必要件	数)	%	85	8	
平成32年	度	消防団施設の維	持管理を図る	ことにより	り活動拠点としての	D機能を維持する。			直接		適正管理率	修繕等実施件数	女/修繕等必要	件数)	%		ç
平成33年度		消防団施設の維持管理を図ることにより活動拠点としての機能を維持する。								直接 適正管理率(修繕等実施件数/			7/修繕等必要	多繕等必要件数) %			
		修繕等では対応しきれない器具置場等の老朽化に伴う器具置場等の更新が課題であるが、公共施設管理計画の中で対応									^+						
(7)事業実施	上の課題と対応 ——————	ていく。							代替案検討		○有 ●無						
		_;	平成30:	年度			平成31年度		_ ;		平成	32年度			平月	t33年度 	
		東:	内 容			政 策 内容	予		額(千円) 政策		内 容		金額(千円	策	内 容	!	金額(千円)
		光熱水費 その他保険料			690 30	光熱水費 その他保険料		750 30	- 7	光熱水費 その他保障				50 光熱水費 30 その他保険			75i 3i
		放送受信料 施設修繕料			146 400	放送受信料 施設修繕料		160 400	所	女送受信料 拖設修繕料	*		1	60 放送受信料 100 施設修繕料	ŀ		16 40
		登記費(既存建		置場(補助・起債対象) 工事請負費 28,167		* 第9分団器具置場(補助・起 * 器具置場新築工事費	2債対象)	31, 891	* 第2分回 * 器具置均		可器具置場 場用地取得費			* 第2分団器	具置場(補助 8転整備工事請		
	実施内容	* 器具置場建替え	工事請負費			* 工事監理業務委託費(新築・解体) * 旧器具置場解体工事費		1, 677 4, 002	* 器具置場 * 登記費		易移転整備設計委託費					理業務委託費	
(8)施行事項		* 器具置場建替え 事前調査・事後	に伴う家屋		,	* 登記費 * 施設備品購入費(起債対象外	_{k)}	90									
	д m	* 登記費				*: 施設備品購入賃(起貨刈多外 *: 第2分団器具置場 *: 移転整備候補用地測量・用地		121									
		* 第9分団器具置		計委託費	1, 848	* ※第2分団器具置場整備は地								* 補助金)×1/6∸0 cr	7 000	
		* 補助金 15,944,000×1/		00		* : 交渉が整い次第実施 * : 補助金 15,944,000×1/6≒2,	657, 000 ((千円未満	0×1/6≒2,65 初捨て)	,, 000	
		* 起債				* 起債 新築分(30, 260, 169+1, 413, 1									000-2, 657, 000		
		【32, 738, 400円 +1, 848, 000円】] ×1.0			⇒29,100,000円(10万未満切 * 解体分(2,968,465+138,624)	×0.9)+90, 000+1, 84)00 (10万未海	48,000】×1.0 続切捨て)	
	予算(決算)額	= 31, 900, 000	(10万未満切 計 計	捨て)	37, 549	≒2,700,000円(10万未満切 合 計	捨て)	39, 121			合 計		1, 3	340	合 計		1, 34
	国庫支出金県支出金	補助率 補助率	1	0 % 6.6 %	2, 657	補助率 16	0 %	2, 657		助率 助率		0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	
(9) 財源内訴	起債 一般財源	充当率		100 %	31, 900 2, 992	充当率 1	00 %	31, 800 4, 664	充	当率		0 %	1. 3	0 充当率		0 %	1, 340
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 □基金 □その他 0 0.13 1.144 0			□特会 □受益 □基金 □	その他	0 0.13		□特会	会 口受益 口基金 口その他		0.	0 □特会 □受益 □基金 □その他 0.13			0. 13
(10) 人件費等	正融昌人姓弗							1, 144						1, 144 0			1, 144
事業費(予算(臨時職員賃金額 決算)額+正職員人件費)				38, 693		0 40.265			0 2.484						2, 484	
(11)単位費用			12, 897. 67=	 F円/件	30, 033	13, 421. 67 T	·円/件	40, 200					2, 4	104			2, 40
	の評価 (DO+CHECK	0															
	評価項目				事前	評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善								
		我孫子市の防災体制の一翼を担う消防団の活動を支えるため、消防団の器具置場をはじめとした種々の施設を維持管理							○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった								
	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)	. 一	し、消防団の活動環境を整備する必要がある。														
月京	は?(事業の必要性)								<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> O								〇不要
.tv		●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている							□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由>								
必 要		□提供主	体が市しかな		EMPALCIO				□②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層								
生 (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)		ロその他 〇②自治体である市が推進すべきである (理由) 口市が主導で進めることにより実効性が得られる				<その他の内容>			促進された ② 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ⑤ サービス水準が確保された ⑥ サービスの安定供給基盤が確保された			に貢献した					〇要
(1)		口市が実施・提供することにより、良質で安定した サービスが保証される							□⑦その他 <その他の内容>								
		実現が	図られる	より政策・	・施策の目標の												
		□その他 参加・協働の内容				工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、					参加・協働の程度・内容			
4		〇①事業計画時に	市民の参画	有り		エ大の具体	エ人の共体的な内存			が考えら	えられる場合にはその内容)			○①当初期待した以上			
参加・古民の	Name - Inches	〇②事業実施時に 〇③管理・運営に	市民の参画	有り										○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下			
協工夫して	参加や市民との協働を ているか?	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	な活動と連携している ₹事業を実施														O要 O不要
協働の工夫	、り)	●⑥その他					取組む内容							_ , , , , ,			
*		<その他の内容> 該当なし									た具体的な内容			環境への配慮			
			配慮の	组占		Tin 6₽ ±-				宇佐した							
		□①自然環境を生	Eかしている	元品		以組む	ritt			犬 他した	- 共平的な内容			定どおり			
環境に	記慮して事業を進めて	□②生き物と共存している □③手賀沼を意識している											O②想	定どおりでなかっ	t: 		
境への配慮		□4環境負荷低減 ■⑤その他		いる									<想定。	どおりでなかった原	(因)		〇 要 〇 不要
慮		<その他の内容>															
		該当なし															
		現況値(a)(%)	目標値(b			目標値の妥当性のチェッ	ク		達月	成状況							
(1)目標	設定は適切か?					・・事実に基づき設定している B現性が乏しい値ではない			実績値(f)(%)		達成平(%) (f/b×100)						
		85	87			が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ					<目標を達成した野		・た性田/木類	理由/未達成となった原因>			
		対策実施によ	る事業典判		同等の水準で	ある			# +	 施状況		〇①想定事業	費未満	満事業費の削減対策について			
効 # (2)事業者		対象表施によ 事業費(c)(千円)	事業費削減額(d) □①国・県助成制度						表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	対事	付事業費(%) ○②概ね想定事業		事業費以内	費以内 ○①事前の想定と			
	費削減の工夫をして	40, 265	(千円 △1,5	72	■②現有体制での記 □③維持管理費の記					(g)	(g/c) × 100			過 ○②事前の想定どおりでなかった			
	・質削減の工大をして か?		△1,5 減率(%)		□④民間委託 <削減の内容>				図過理由等>					<想定どおり削減できなかっ		た原因>	〇要 〇不要
IÍ.																	
		Δ4	4. 06														
(3) 日輝	値を実現する為に		目標値対事業				計算方法			成状況				標値以上となった	理由/目標値	里由/目標値以下であった原	
投じ	:値で失呪する為に る事業費は適正か? 票対費用)	0. 22	7/17-E			●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費)②複数年度の指標:(目標値一現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100 O(2)目標値以下 O(3)目標値以下			g.			〇要 〇不要
(日1	«^1 У П]/	0. 22		% 10万円													
3. 事後	評価																
〇現状どる	おり推進 〇拡充	〇縮小	〇結合	〇休止)事業手法見直し 〇その他(事業完了など)					_1 3/-	± 11. 4 € 12 12 1	–			
評				評価コメ	ハント							改善	策及び展開方	[F]			
								1									